

第356回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成31年3月25日(月)午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

豊口 協	委員長	若杉 隆平	副委員長
飯塚 智	委員	中島慎一郎	委員
野内 隆裕	委員	大久保千春	委員
田村 明子	委員	柳川かおり	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役放送本部長	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
取締役編成局長兼番組審議会事務局長	宗田 英成
報道制作局次長兼制作部長	羽田 朗
報道制作局合評番組プロデューサー	道場 拓哉
事務局	山崎 学 小野塚由起子
	吉田 康宏

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「新潟×長野 一番G e t ! ケンミン生投票

信越ながら…ゴールデンやっちゃいます！！」

[放送：平成 31 年 3 月 8 日(金)18:40-19:56]

(説明：番組プロデューサー 道場 拓哉)

### 2) 会社報告

① 2月の視聴者の意見 (報告:番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告:番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは、今回で3回目を迎えたテレビ信州との共同制作番組だが、ゴールデンタイムでの放送として他系列の同時間帯番組にひけをとらない番組を作ること、新潟・長野両県の視聴者が番組に参加できる仕組みを作ることテーマに番組を制作した。総合演出のディレクターが出演者の選定、ロケ、編集、テロップ、BGMなど細部にまで拘わった演出をし、視聴者参加の生投票の参加は5, 856人であった。反省点はあるが、様々なチャレンジを行えた番組であった、という説明があった。

(委員の意見)

- 全体的に新潟の良さを取り上げた、楽しい番組だった。改めて新潟にはネタが多い魅力的な県だと思った。
- 生放送でバタバタ感があったが、それを楽しいと取るかうるさいと取るかは視聴者層によって違う判断があると思う。
- ロケに出た芸人はスタジオに要らなかったのではないか。

- 「街歩き対決」が面白かった。間寛平さんとジミー大西さんが素晴らしかった。
- 実力のある芸人とドローンを使っての番組作りに制作者の気合い、意気込みを感じることができた番組だった。
- VTRのBGM、効果音のつけ方が非常に上手だった。
- 魚釣りのシーンが少し長いと感じた。お寿司屋さんで魚の査定があるということを初めて知ったのでこちらを長めにすればよかったのではないか。但し、釣れた貝を水族館にまで追いかけてフォローしていた演出は面白かった。
- 視聴者が見続けられるような投票システムは良い演出だった。視聴者と一体となって番組を作り上げる工夫がなされていた。
- VTRを見ている芸人の声がナレーションに被ってしまったのは残念だった。
- スピード感のある番組だった。
- それぞれのコーナーの作りの基本が新潟は視聴者目線で作られていたと思うが、長野は制作者目線で作っているように感じた。対決の結果はそれが表れたと思う。
- 「ドローン対決」と「街歩き対決」には新潟と長野の対決感が見えて来なかった。
- 対決という言葉から想像した各県の良く知られている観光・グルメの紹介ではなく、地元の人も見ることがない映像や知らないポイントが紹介されていて、いい意味で裏切られた楽しい番組だった。
- 対決を打ち出していた割には、投票の結果発表があっさりとし過ぎていた。もう少し結果について触れてもよかったのではないか。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

2月 …… 102件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成31年2月25日)から、昨日(平成31年3月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

### 1) 前回第355回審議会では、「笑顔 守りたくて ～問われる通学路の安全対策～」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

### 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第356回放送番組審議会の公表

### 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

### 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

### 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・2月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告 NO.197
- ・民間放送新聞(2/23、3/3、13号)

以上